

四ポイント増加し、六十年度はさらに〇・八ポイント増加した。

学科別に進学率を比較すると、普通科では前年度より男子が一・一ポイントの減少、女子は逆に一・四ポイント増加し、全体で〇・三ポイントの増加となった。しかし、職業に関する学科では、いずれの学科も前年度を下まわり、全職業科で〇・七ポイントの減少となった。理数科は、例年、卒業生が少ないため、進学率の変化が比較的大きく、本年度は三十八・〇パーセントと前年度より一・三ポイント減少した。

(二) 各種学校等への入学(表1・2、表3の1・2、表6参照)

予備校を含む各種学校等への入学者は、男子二千四百四十人(入学率二一・二パーセント)、女子二千五百人(同十八・一パーセント)であった。学科別にみると、前年度に比し、工業科は〇・九ポイント増加したが、他の学科はすべて減少し、全体では〇・七ポイントの減少となった。

なお、予備校入学者を含まない各種学校入学者は、三千人(入学率十三・三パーセント)で、前年度より〇・三ポイント減少した。

(三) 次年度進学希望者(表2・3参照)

次年度進学希望者数は、男子千七百九十八人(入学率十五・六パーセント)、

女子四百二十四人(同三・八パーセント)である。

五十五年度からは全体で九パーセント台が続き、六十年度は九・八パーセントと前年度より〇・八ポイント増加した。

(四) 学部別進学者・入学者(表4参照)

進学者総数四千九百六十九人の内訳は、文科系二千二百一人(四十四・三パーセント)、理科系九百九十七人(二十・一パーセント)、その他千七百七十一人(三十五・六パーセント)となっている。

(五) 大学別進学者(表5参照)

表5は進学した主な大学について、進学者の実数を示したものである。

六十年卒業生の国立大学への進学者数は、地元の福島大へは前年度より十五人増加し、隣接する山形大へは五人、筑波大へは八人、新潟大へは二人それぞれ増加した。逆に、前年度二十人増加した茨城大への進学者は前年度より二十人減少した。東北大へは前年度と同数であった。これらの大学への進学者数ですべての国立大学進学者の七十四パーセントを占め、国立大学進学者全体では、前年度より二十六人の増となっている。

表4 学部別進学者・入学者数調(公立全日制)

区分	計	A 人文科学			B 社会科学			C 理学	D 工学	E 農学	F 保健			G 家政	H 教育	I 芸術	J その他
		1 法政関係	2 商経関係	3 社会関係	1 医学	2 歯学	3 薬看関係										
											1	2	3				
大学学部	国立	男	597	41	28	148	5	37	162	37	9	5	1		119	1	4
		女	319	36	8	22	2	10	6	17	2		4	2	207	2	1
	公立	男	21	1	1	6		1			11				1		
		女	17	6		1					6		1	1	1	1	
	私立	男	1,423	151	181	427	76	13	383	33	12	18	24		64	15	26
		女	627	214	23	34	61	4	8	11	5	10	58	68	69	45	17
短期大学本科	国立	男	14						13				1				
		女	16						1		1		14				
	公立	男	8			2	1			3						2	
		女	124	17		37	18	1		1			4	29	2	15	
	私立	男	96	1		64	3		16	4			1		2	4	1
		女	1,677	376	3	153	46		5	1			27	440	448	75	103
その他	男	17	2		1				1	12		1					
	女	13			5					1		1	4	1		1	
進学者計	男	2,176	196	210	648	85	51	575	89	32	23	28		186	22	31	
	女	2,793	649	34	252	127	15	20	31	14	10	109	544	728	138	122	
	計	4,969	845	244	900	212	66	595	120	46	33	137	544	914	160	153	
準大学入学者	男								3							5	
	女																